

2020年3月期第2四半期決算 説明会資料 本編

代表取締役社長 最高経営責任者
石田 建昭

2019年11月26日

目次

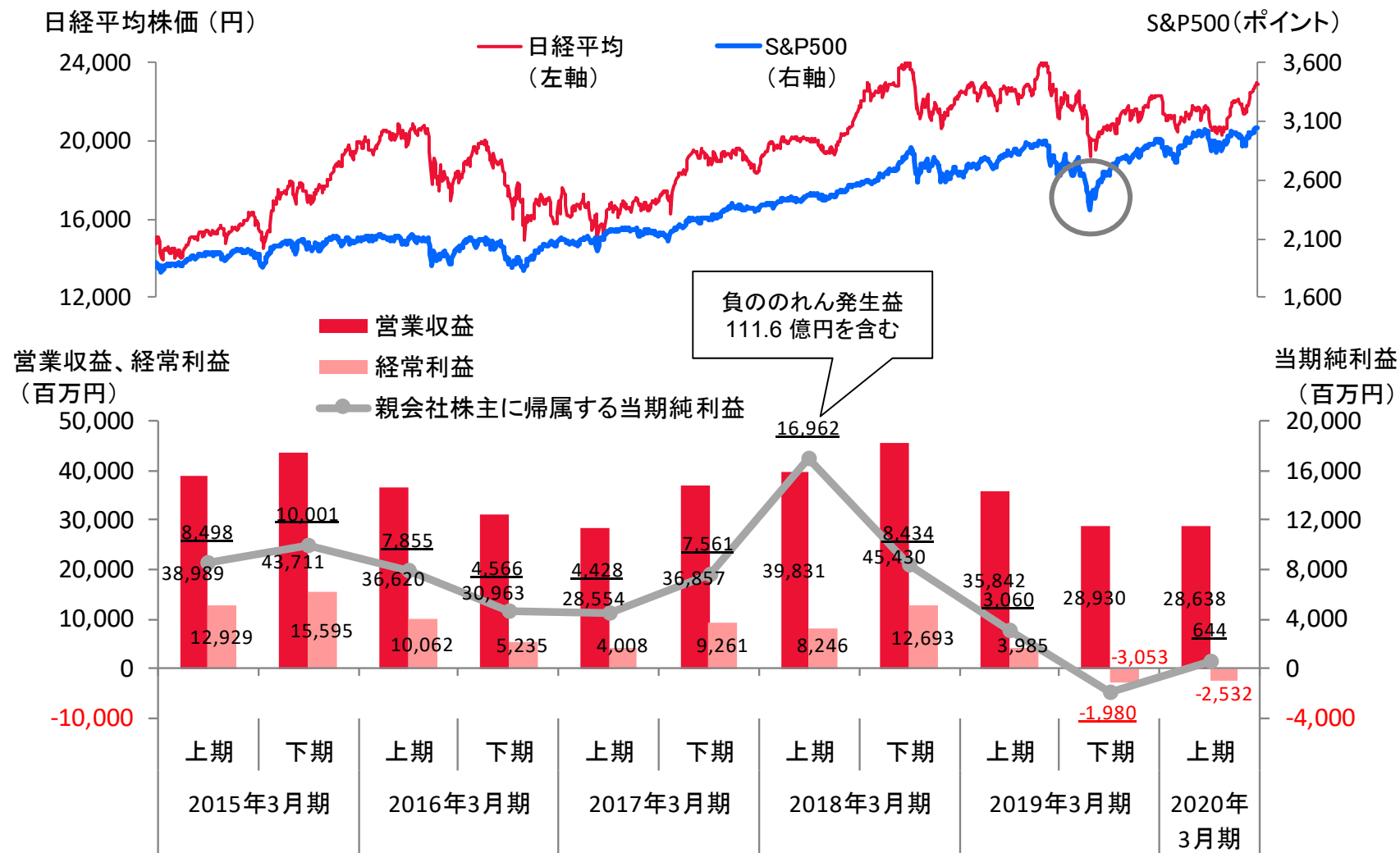
I. 業績概要	2
II. 経営計画の進捗	7
III. 重点プロジェクト	9
IV. 今後の業績見通しの留意点	11
V. ビジネス環境の変化とその対応策	13
VI. 新時代の旗手に向けて	16

1. 業績概要

I. 業績概要

業績推移

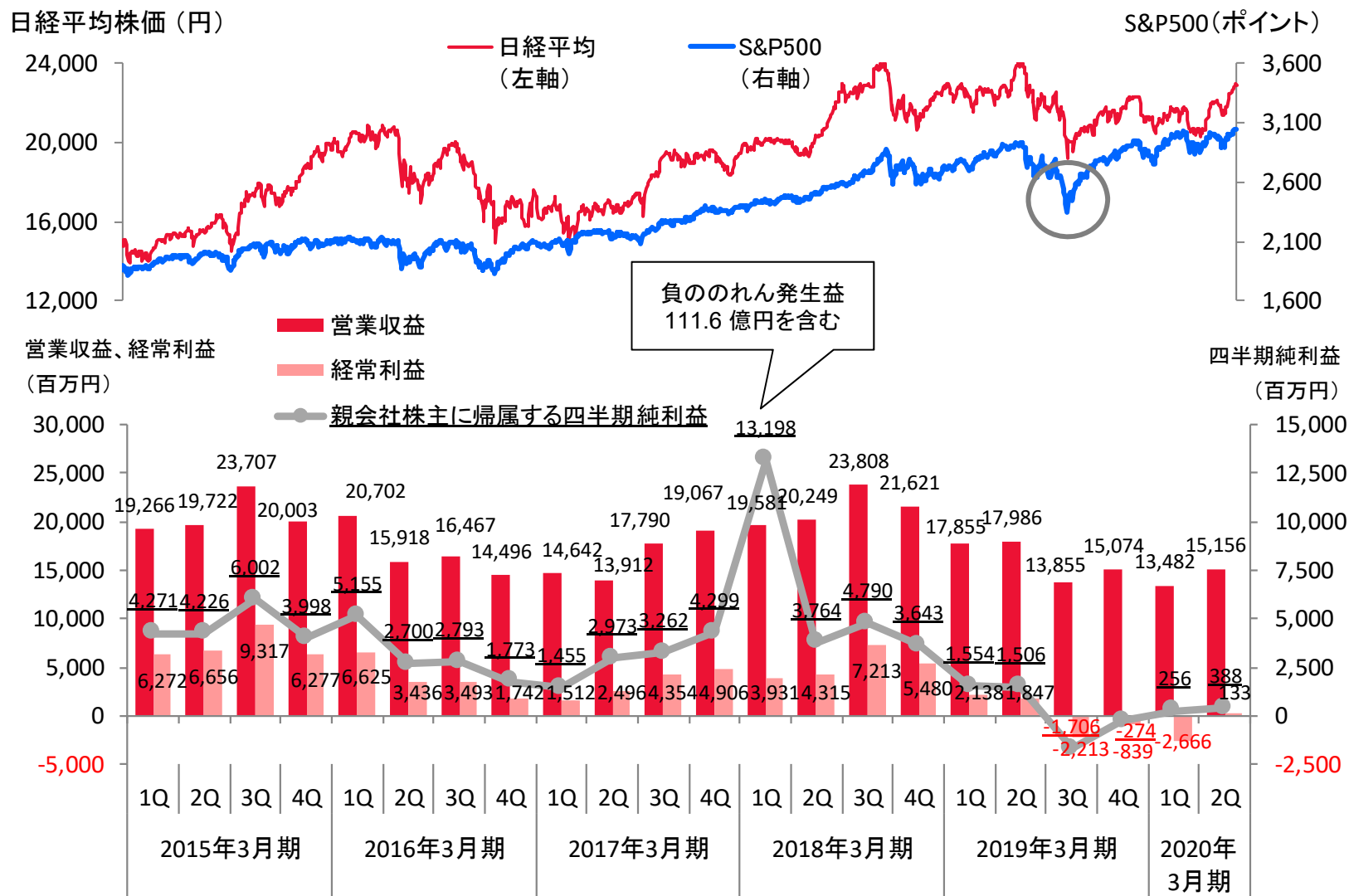
(連結) 半期ごと業績推移



I. 業績概要

業績推移

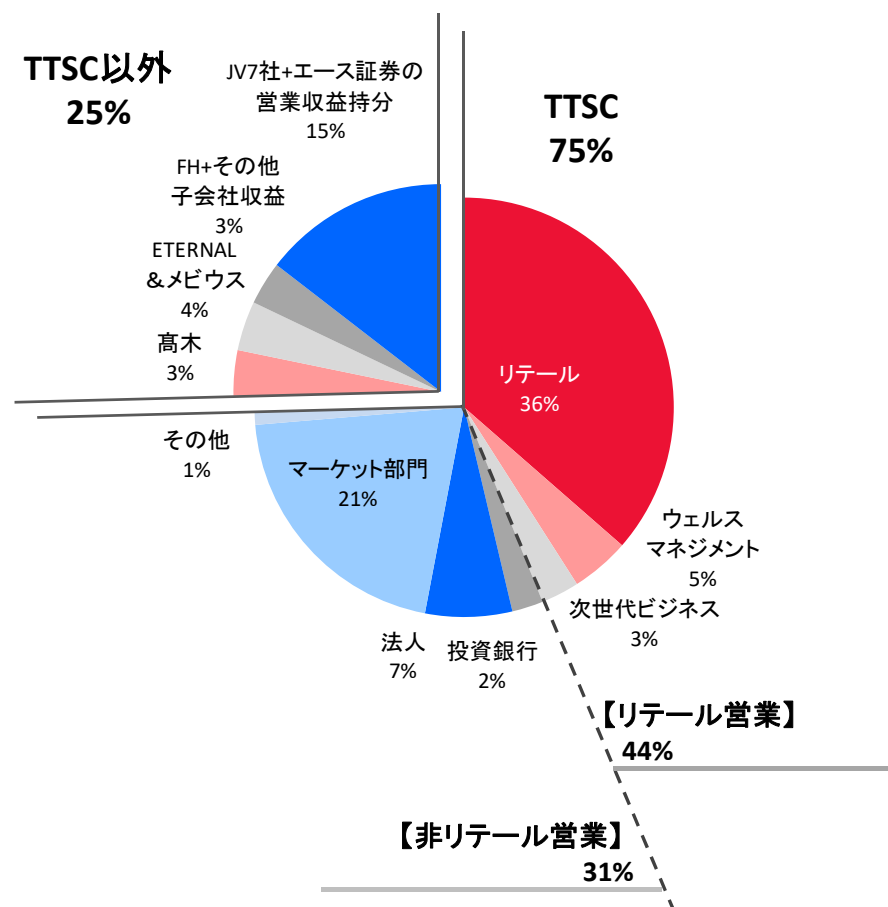
(連結) 四半期ごと業績推移



I. 業績概要

ビジネスの特徴と財務状況

比例合算による営業収益イメージ



※ 持分法適用会社(提携合弁証券およびエース証券)の収益を持分比率により合算することで、2020年3月期2Q累計における当社グループ損益の源泉のイメージを提示するものであり、企業会計上の連結損益計算書とは異なります。

I. 業績概要

2020年3月期第1四半期・第2四半期決算のポイント

第1四半期決算のポイント

東海東京証券の不振

リテール
外株・仕組債

マーケット部門
ポジションロス

JV(提携合併証券) の落込み

外株・仕組債

十六TT証券
スタートコスト

販管費の上昇

不動産関係費
賃料

人件費
新人事制度

成長投資・ 戦略投資コスト

高木証券
お金のデザイン
ピナクル・エターナル

その他

ファンド投資等・連結子会社回復

第2四半期決算のポイント

東海東京証券

リテール
回復傾向: 日本株
底打ち: 投資信託

マーケット部門
フローの回復、ポジション抑制

法人業務の拡大

JV(提携合併証券)

全JV回復途上

十六TT証券本格稼働

販管費

不動産関係費の落込み

人件費抑制

その他費用抑制

成長投資・ 戦略投資見込み

高木証券統合

お金のデザイン負担減

ピナクル・エターナル
・エース 完全黒字化

その他

連結子会社収益力回復

II. 経営計画の進捗

II. 経営計画の進捗

オルクドール・サロンTOKYO
オープニング(4月)



人事制度改革(4月)



十六TT証券の開業(6月)



東海東京証券が
高木証券を統合(9月)



III. 重点プロジェクト

III. 重点プロジェクト

マーケット部門、
法人部門の業績回復

富裕層ビジネスの
推進

地方銀行との
提携合弁証券ビジネス
の状況

生産性革命

リテール分野の新戦略

IV. 今後の業績見通しの留意点

IV. 今後の業績見通しの留意点

地方銀行提携合併証券 の業績回復

- 新時代の営業モデル

リテールビジネスの 業績回復

- 営業基盤の拡大
- 効率化
- 新しい収益源

出資先の業績回復

- お金のデザイン
- ピナクル
- エターナル

富裕層ビジネスの躍進

- オルクドール・サロン
(東京・名古屋)

30億円プロジェクトの推進

- 市場部門の強化
- 法人部門の拡大

生産性の向上

- 販管費の抑制

資金運用力の強化

新プロジェクトの 業績影響度

V. ビジネス環境の変化とその対応策

V. ビジネス環境の変化とその対応策

7つの脅威



V. ビジネス環境の変化とその対応策

地方銀行マーケットへの対応



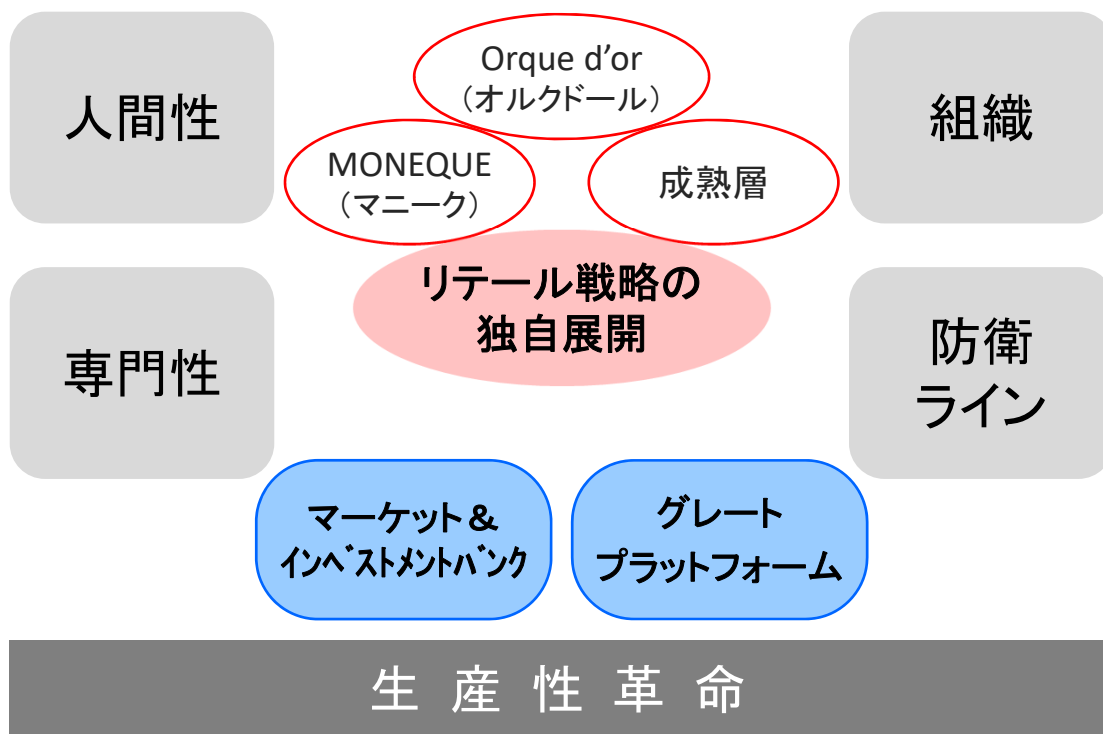
VI. 新時代の旗手に向けて

VI. 新時代の旗手に向けて

経営計画「New Age's, Flag Bearer 5」全体像

「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」

更なる経営基盤の強化と成長

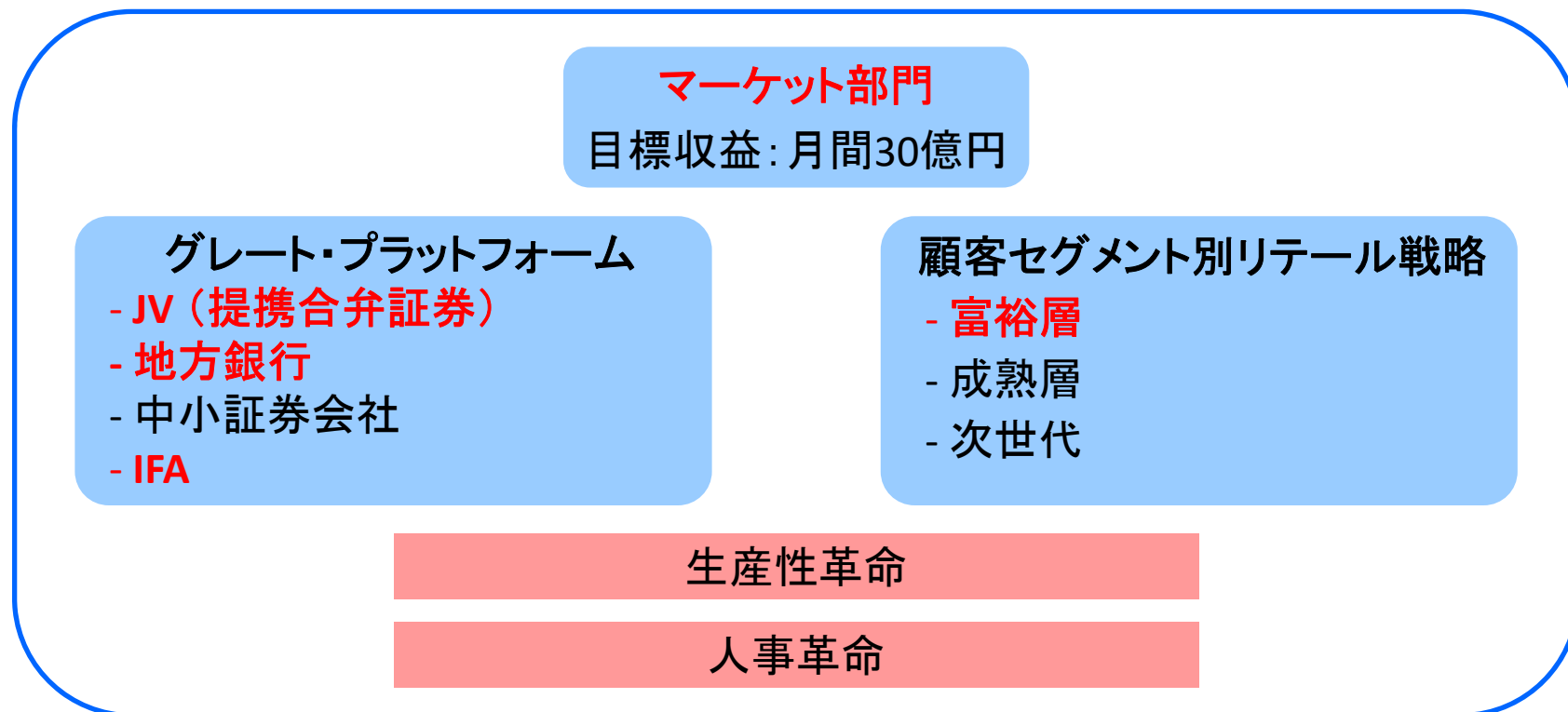


戦略テーマの追求



VI. 新時代の旗手に向けて

経営計画達成に向けて



経営計画のKGI

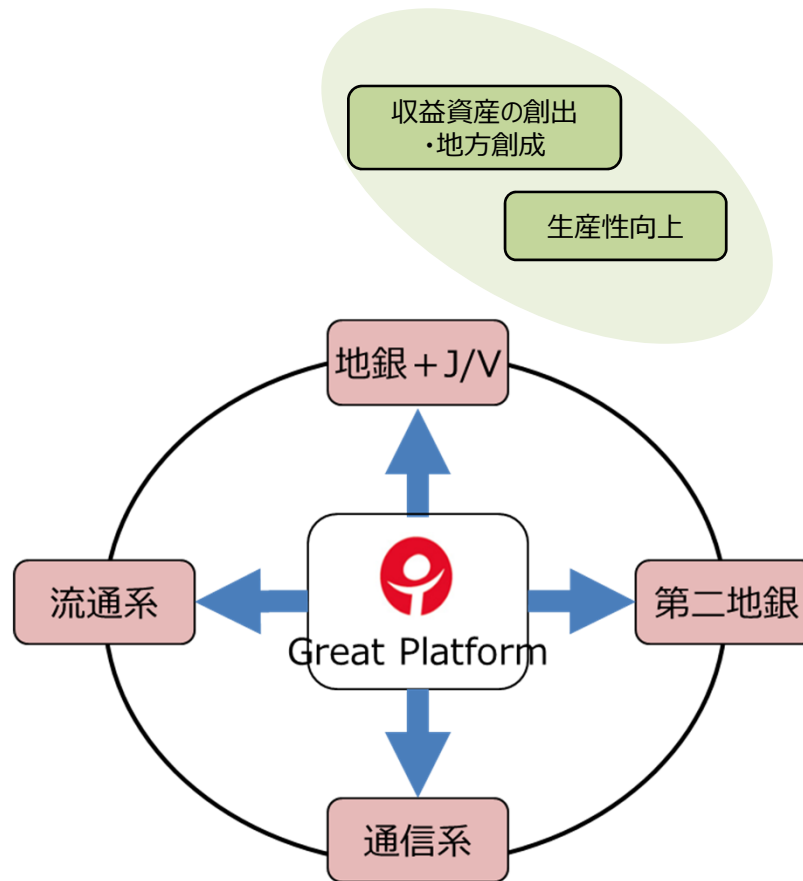
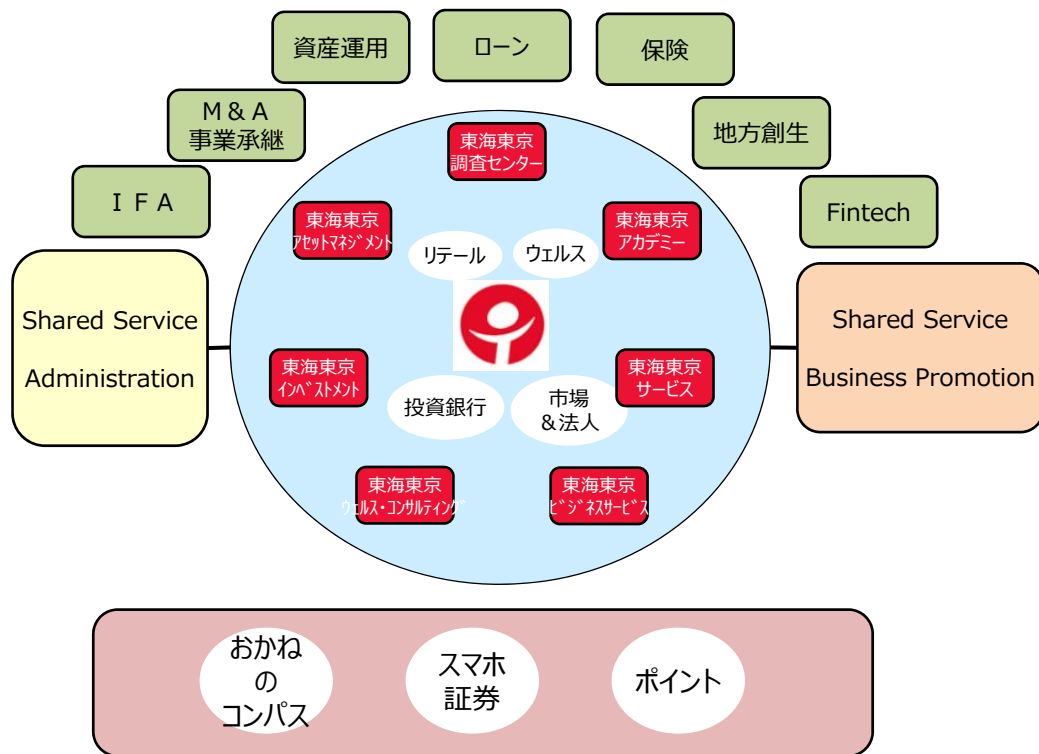
経常利益	ROE	預かり資産
300億円	10%	10兆円

VI. 新時代の旗手に向けて

CASE+Platform

- **C**onnected
➤ 地方銀行ネットワーク
- **A**utonomous
➤ FinTech
- **S**hared & Services
➤ シェアード・ビジネス
- **E**lectric (Instruments)
➤ スマートフォン

グレート・プラットフォーム システム

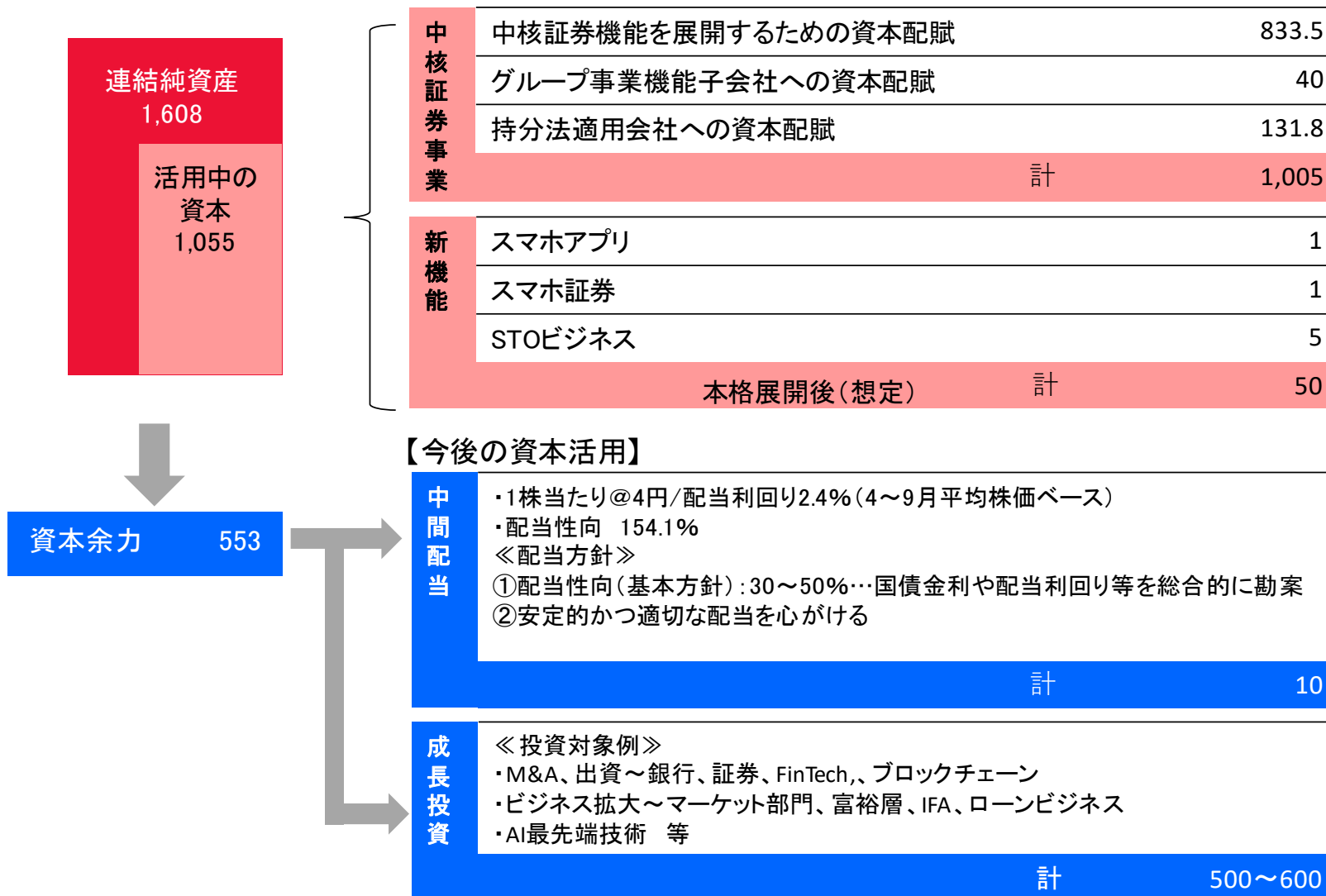


VI. 新時代の旗手に向けて

経営計画達成に向けて

グループ資本状況(2019年9月末)

(単位:億円)



MEMO

MEMO

問合せ先

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社 広報・IR部

TEL: 03-3517-8618 FAX: 03-3517-8314

E-mail: fh_ir@tokaitokyo-fh.jp

本資料は、最新の業績に関する情報の提供を目的とするためのものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。